

リジュセア®ミニ点眼液 0.025%（低濃度アトロピン点眼薬）による近視抑制治療を受けられる方へ

近視の原因には、遺伝と環境の両方が関係すると言われていています。とくに最近では、屋外活動時間の減少やパソコン・スマートフォンの長時間の使用が問題とされ、小児近視・強度近視が増加傾向にあります。近視が進むと、将来、強度近視の合併症である、網膜剥離や緑内障の発症リスクが高まります。そのため、近視の進行が特に進む小児の時期に、近視抑制治療を開始することが有効です。低濃度アトロピン点眼薬は発売前の臨床試験において、点眼を行わない場合に比べて、小児の屈折値の進行や、眼軸長の伸びを抑制することが確認されました。

### 〈治療の目的〉

この治療の目的は、低濃度アトロピン点眼薬を点眼し、小児の近視進行を抑制することです。完全に近視の進行を止めることではなく、また視力を回復させるものではありません。近視の程度に応じて眼鏡等での視力矯正が別途必要となる場合があります。

### 〈治療の方法と費用〉

低濃度アトロピン点眼薬を、1回1滴を1日1回寝る前に点眼します。

検査・診察の上、適応と判断されれば治療を開始します。主な適応は、近視のない5歳以上で、近視の進行が落ち着く10代後半まで治療を継続することが望ましいとされます。検査後、近視手帳を作成し、毎回検査結果を記入します。治療効果についてはご家庭で確認できます。副作用等がなく治療継続に問題がなければ、視力検査・屈折検査・眼軸長検査を年2回行います。この検査については、健康保険が適応されます。リジュセア®ミニ点眼液 0.025%は1箱（1カ月分）4380円（全額自己負担）となります。

### 〈治療費に関する注意点〉

この治療は、選定療養（保険診療と自由診療を併用できる制度）の対象になります。診察・検査費は、年2回に限り保険適応になり、通常の保険負担割合で受けられます。こども医療費受給者証も使えます。薬剤費は、自由診療（別途自己負担）になります。薬剤のみ購入の場合も、再診料と処方料がかかります。

### 〈主な副作用・危険性〉

主な副作用として、羞明（まぶしく感じる）、霧視（かすんで見える）があります。まれに視力障害、頭痛、眼瞼湿疹が起こることが報告されています。また、治療を途中で中止すると、近視が急激に進行する可能性があります。これらの症状や何か気に

なる症状が現れた場合は、早めに医師にご相談ください。ご不明な点は遠慮なくお尋ねください。